

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	すだち平田		
○保護者評価実施期間	令和6年 10月 1日		～ 令和6年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19名	(回答者数) 19名
○従業者評価実施期間	令和6年 10月 1日		～ 令和6年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年 11月 8日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者の事業所に対する満足感が高い。 また利用児童の満足度も高い。 保護者の方は安心して預けて頂いており、子どもたちもすだちに来ることを楽しみにしてくれている。	保護者が安心して預けて頂けるような環境作りと支援プログラムの作成。利用児童が安心安全に活動できるように職員の配置と情報の共有、ヒヤリハット事例の共有などで危険な状況にならないように配慮している。	利用児童の安心安全と笑顔を守っていけるよう環境作りと職員の教育の強化。
2	活動プログラムが幅広く、固定化されないように複数人で作成することで新鮮さを感じてもらっている。	5領域を意識した活動プログラムに季節感、子どもが楽しめる内容、新鮮さを重視し作成している。また子ども自身で成長を感じてもらえるよう継続的な活動もバランスを考えながら加えて作成している。	常に新鮮さを感じてもらえるような活動の作成、季節感を感じてもらえる活動をさらに発展させて作成する。
3	適切な個別支援計画と職員の支援に対する保護者からの評価が高い。また、支援計画や方法についての説明についても高い評価をもらっている。	職員が常に個別支援計画を意識して支援に当たれるような環境作りと子どもの特性についての情報の共有を重要視している。保護者に対しては個別支援の説明以外にも質問や要望に対して迅速な対応を行っている。	今後も利用児童の特性を注視し、より特性に対してアプローチできるような支援計画の作成と、楽しんで取り組める、子どもたちが自主的に取り組んでくれるような魅力のある支援プログラムを作成していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	有事の際の施設としての対応についてや訓練や研修などで有事を想定した教育を実施しているが情報発信力不足で保護者に十分に浸透していない。	避難訓練や各種研修及び訓練を行って有事に備えているが、情報発信力不足で保護者に伝わっていない。ブログを始め様々な形で発信しているが十分ではない。	ブログや会報だけでなく、さらに情報発信力を高めていけるよう施策を実施していく。
2	保護者間の交流の場が十分ではない。	保護者会を実施しているが参加人数がまだ少なく、交流の場としては十分ではない。 保護者間の交流ができる機会のアピールが不足している。	保護者会の意義や効果を説明したり、また参加したくなるような企画や開催時期を見直して参加人数を増やせるように検討する。
3	施設スペースの狭さ。	テナントでの活動の為施設の拡張が出来ずスペースの確保が困難である。	施設の備品や設備の見直しを行いできるだけスペースを確保できるようにレイアウト等を検討する。